

第3章

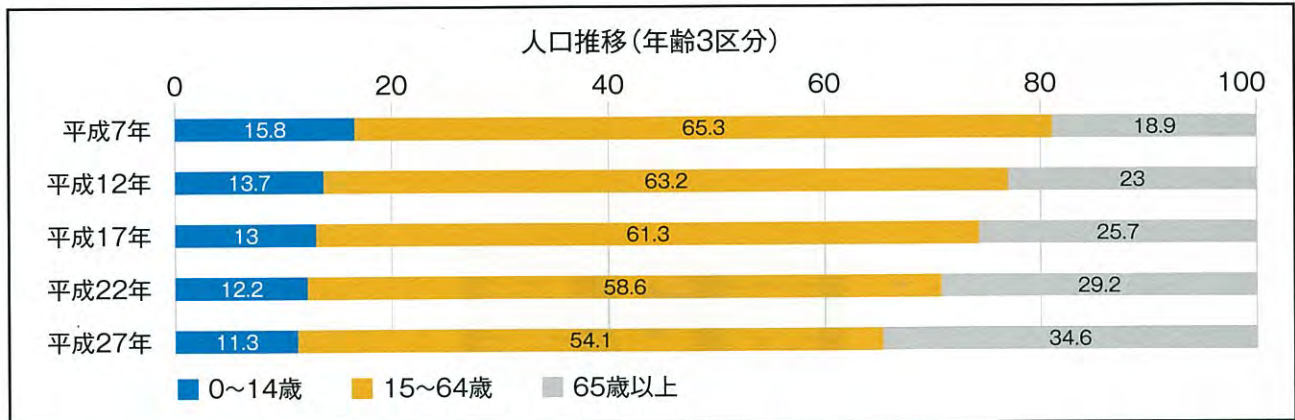
森町の健康状況

第3章

森町の健康状況

【1】人口構成

出生率の低下で15歳未満の年少人口が減少し、高齢者が占める割合が増加しており、少子高齢化が確実に進行しています。



森町統計書

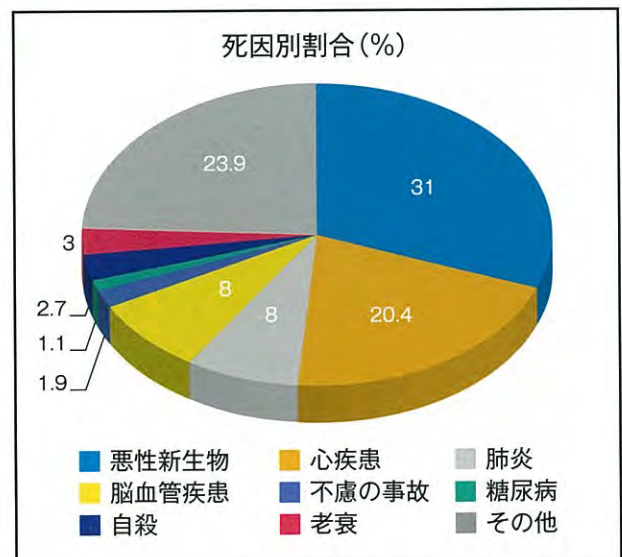
	年少人口(15歳未満)	高齢者人口(65歳以上)	世帯数	出生数
平成22年	2,185人(12.2%)	5,212人(29.2%)	7,804世帯	94人(1日当り0.26人)
平成27年	1,795人(11.3%)	5,526人(34.6%)	6,629世帯	97人(1日当り0.27人)

森町統計資料(H22・H27)

【2】死亡の状況

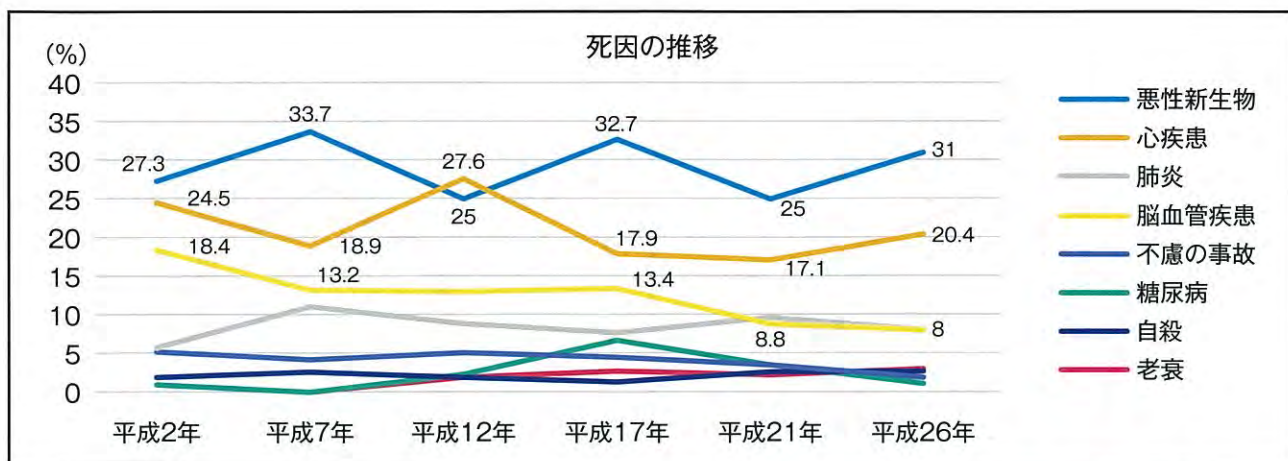
平成26年の総死亡者数は264人で、人口千人あたり15.2%となっています。全国(10.1%)、全道(10.9%)死亡率に比べて高い状況です。

死亡の原因は、平成26年度第1位が悪性新生物82人、第2位が心疾患54人、第3位が肺炎8人、第3位が脳血管疾患8人と、この4疾患で約7割近くとなり、前回の約6割から増加しています。その中でも特に悪性新生物による死亡は全体の4分の1から3分の1に増加しています。



道南地域保健情報年報(H26)

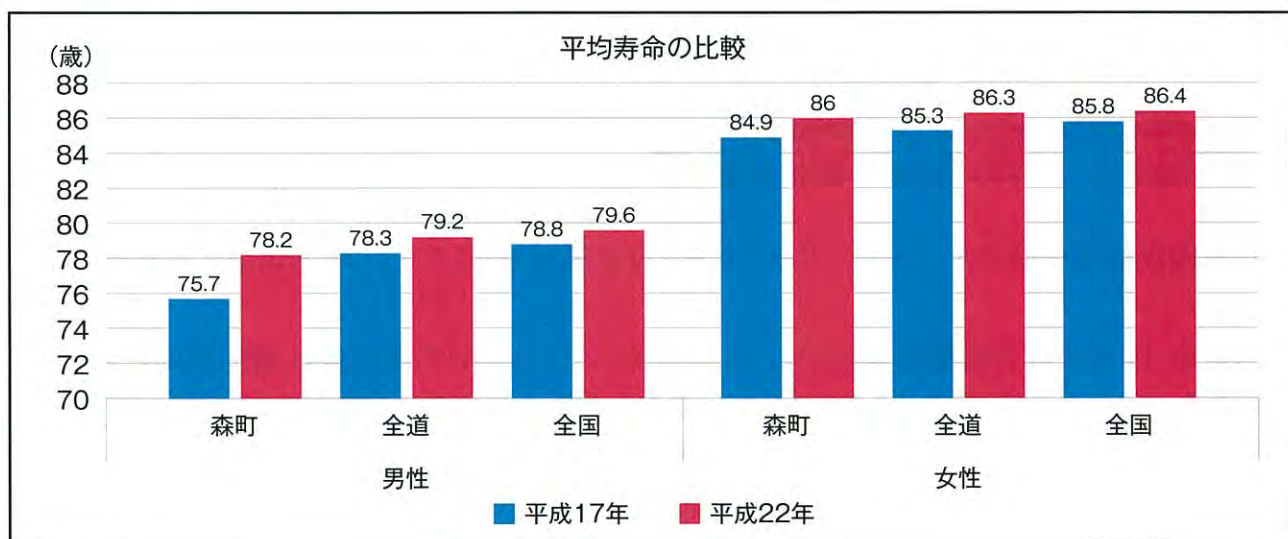
死亡率の推移を見ると、脳血管疾患は減少傾向、悪性新生物や心疾患が横ばい傾向です。また、肺炎や糖尿病、自殺での死亡についても横ばい傾向です。



道南地域保健情報年報

【3】平均寿命

平成22年の平均寿命は男性が78.2歳、女性が86.0歳となっています。森町男性の平均寿命全道ワースト1は返上出来ましたが、男女ともに、全国や全道と比較して平均寿命が短い状況が続いています。



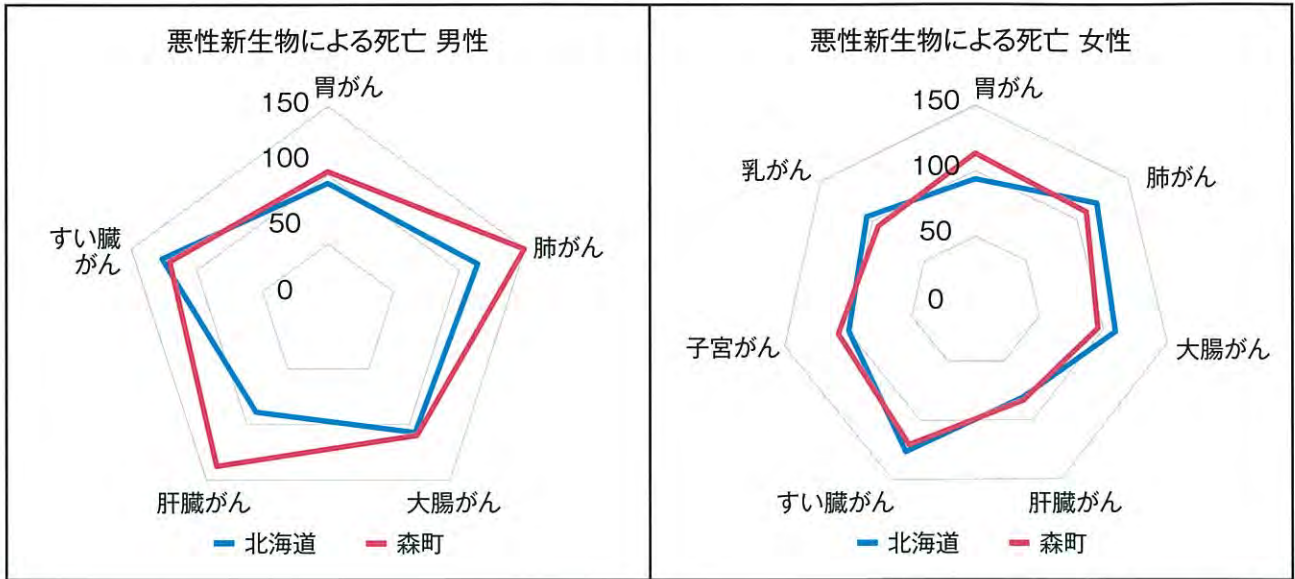
厚生労働統計

◎男性の早世(65歳未満での死亡)

森町における65歳未満の死亡は減少傾向にあり、死亡全体に占める割合は12.1%と全国の12.6%、全道の13.2%と比べ低い状況です。しかし、平成25年の男女比では男性が75%と5年前に比較して11.1ポイント増加しています。

また、死因別では悪性新生物による死亡が多く、脳血管疾患や自殺での死亡も徐々に増加傾向にあります。

森町全体の悪性新生物による死亡(SMR)
平成15年～平成24年



北海道における主要死因の概要8

男性は全道平均と比べ、すい臓がんから肝臓がん・肺がんによる死亡が多くなっています。
女性も全道平均と比べ胃がんによる死亡が多くなっています。

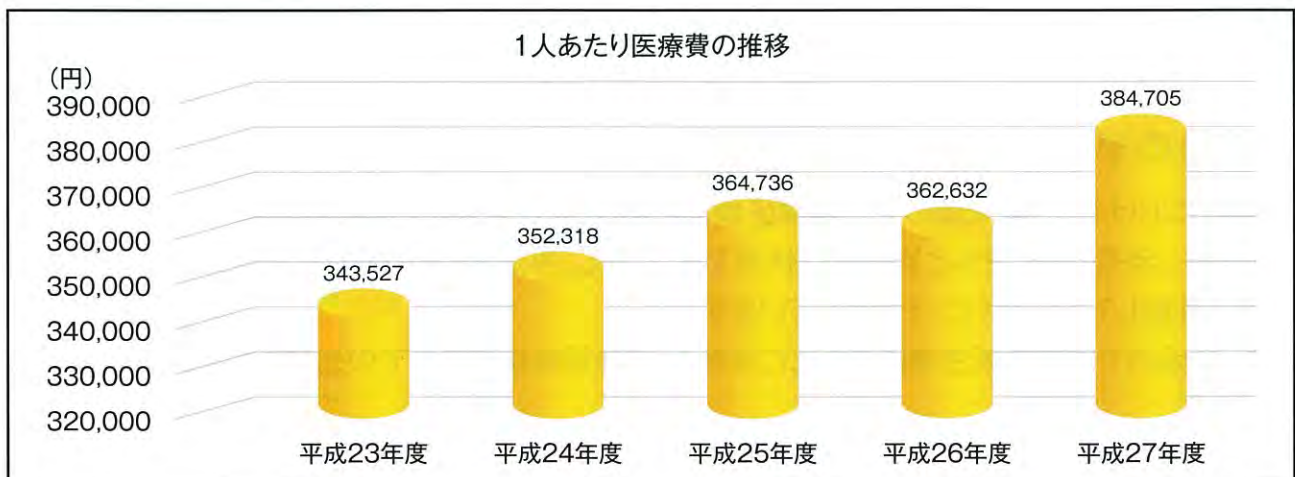
※SMRとは、地域により年齢構成の人数などを、同じ年齢構成の集団になるように修正して計算したもので、全国を100として、死亡が高いか低いかが分かるようになっています。

【4】医療費の状況(森町国民健康保険)

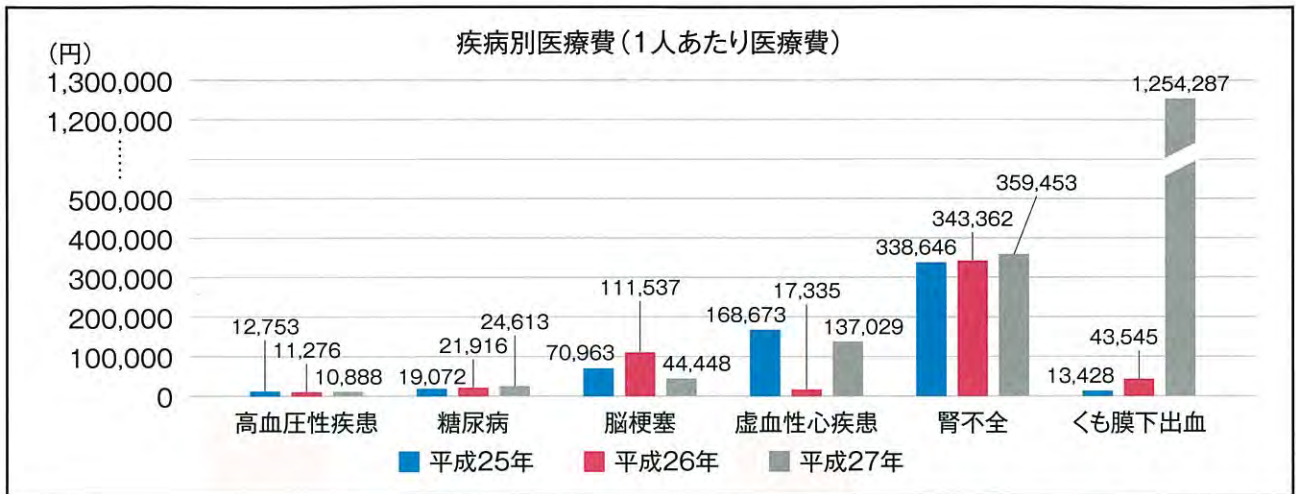
森町国民健康保険の加入率は、平成28年3月末現在で、34.8%と5年前に比べ減少しています。

そのため、国保全体の医療費は減少していますが、一人当たりの医療費は増加傾向にあり、被保険者1人にかかる医療費が大きくなっていることがわかります。

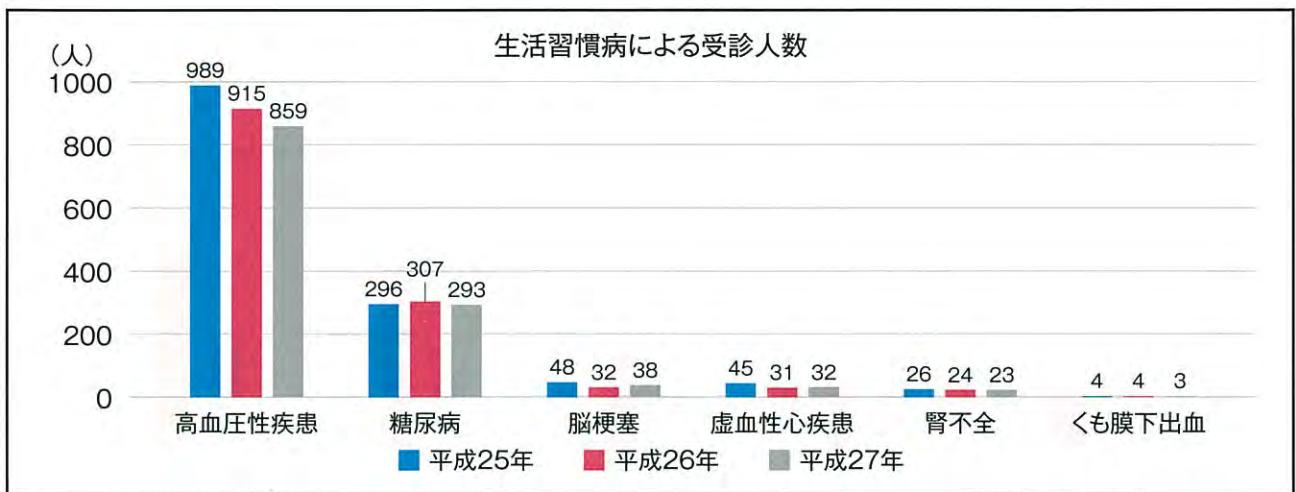
生活習慣に起因する疾患では高血圧での受診者が最も多く、次いで糖尿病となっており、40歳代、50歳代から治療を始める人がいます。



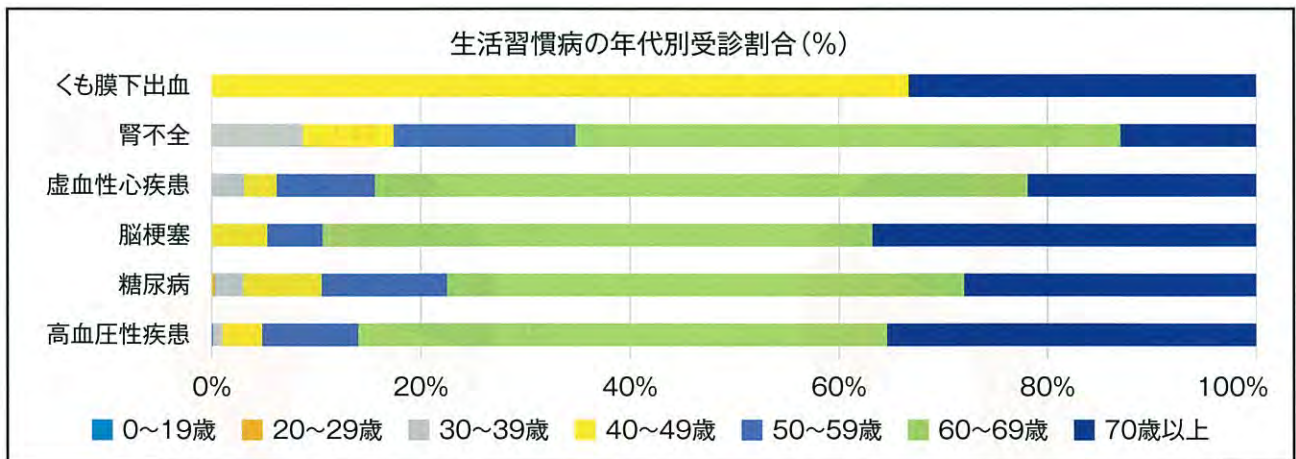
森町国保事業状況報告



国保連医療費分析システム(H25~27・5月診療分)



国保連医療費分析システム(H25~27・5月診療分)

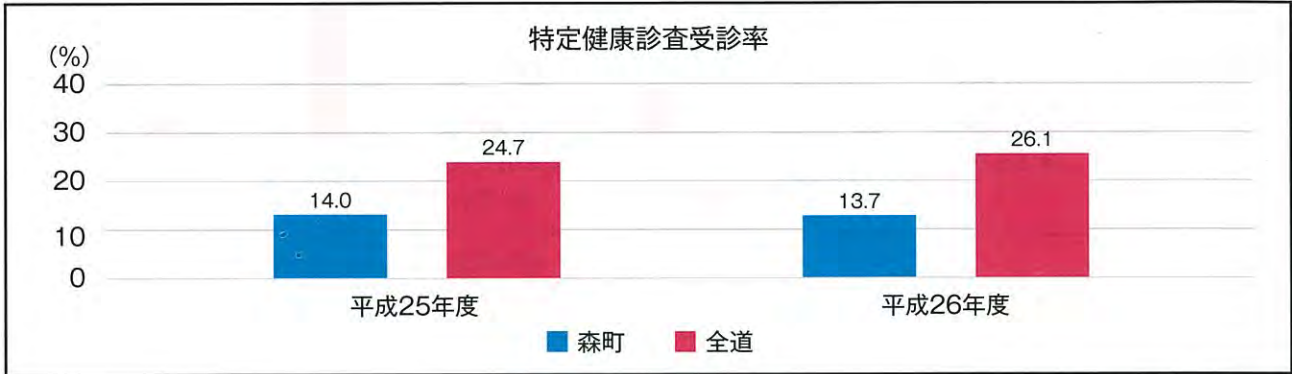


国保連医療費分析システム(H27・5月診療分)

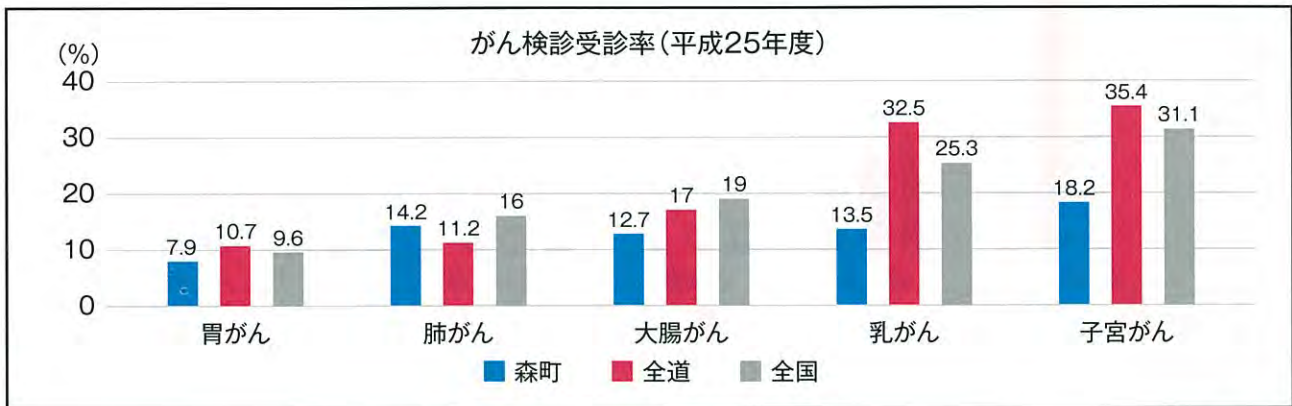
くも膜下出血は40~50歳代での発症が目立っています。高血圧や糖尿病は40~50歳代から治療者が始まる、60歳代で急増しています。脳梗塞は60歳代以降に多くなっていますが、腎不全は30歳代から50歳代から治療を開始している人が3割以上となっています。

【5】健康診査の状況

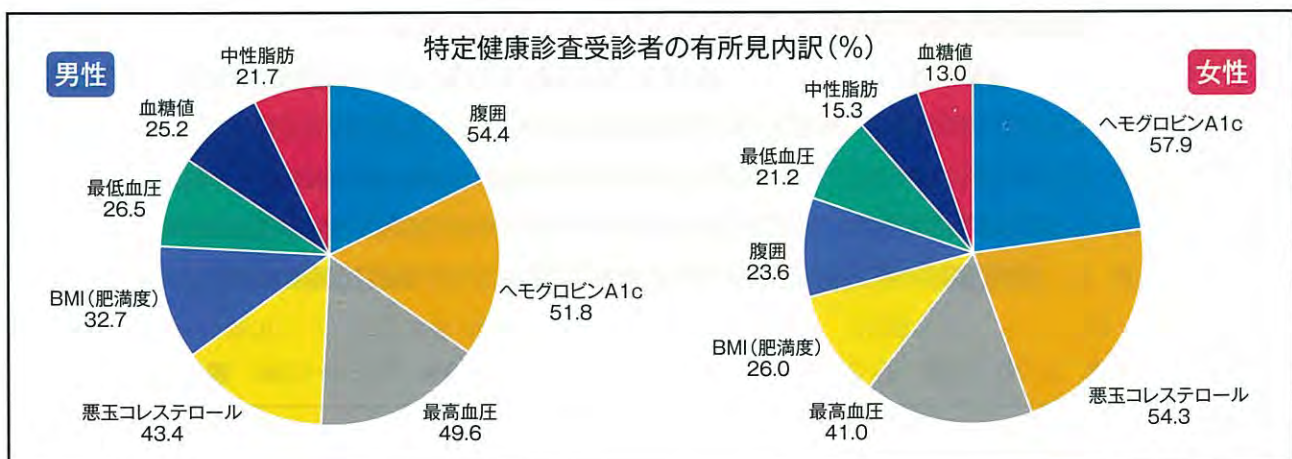
森町では、森町国民健康保険加入者や後期高齢者等を対象に特定健康診査を実施しています。また、保険者に関係なく、各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺)を実施していますが、いずれも受診率が低い状況にあります。



特定健康診査結果 (H25・H26)



道南地域保健情報年報 (H25)



特定健康診査結果 (H26)

男性は腹囲の有所見者が増加傾向にあります。女性はヘモグロビンA1c、次いで悪玉コレステロールの有所見者が多い状況です。

※ヘモグロビンA1cとは、血液中のヘモグロビン(赤血球内)とブドウ糖が結合したものの。血液中に余分なブドウ糖が多く高血糖状態が続くと、ヘモグロビンとブドウ糖の結合が増します。過去1~2ヶ月間の血糖状態を示すため、身体の正確な血糖状態を知ることが出来ます。



ここで豆知識!

特定健診はメタボリックシンドロームに着目した健診です。

※メタボリックシンドロームとはどのような状態・・・??

男性	腹囲85cm以上	} で、さらに	① 血圧高め ② 血糖値が高め ③ 脂質異常あり	} 1つ以上なら、メタボ予備群! 2つ以上なら、メタボです!
女性	腹囲90cm以上			

この状態を放置しておくと、動脈硬化等に進行していきます。

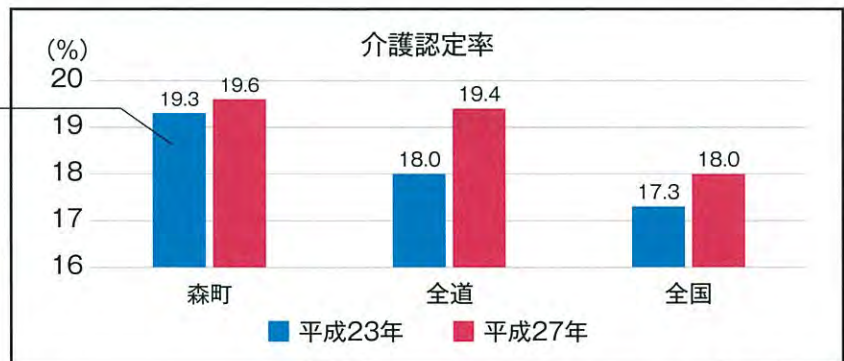
メタボリックシンドローム予備軍の方やメタボリックシンドロームの方へは、保健師や栄養士が特定保健指導を行います。

【6】介護認定の状況

森町における介護認定者数は高齢化に伴い増加傾向にあり、認定の割合は全道や全国に比べやや高い状況にあります。

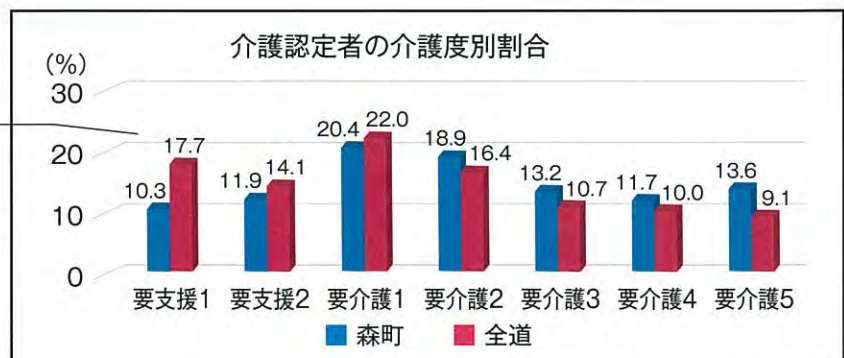
また、要支援1~要介護1などの比較的介護度の軽い人が全道より少なく、逆に要介護5など介護度の重い人が全道より多い傾向が見られます。

介護の必要な人が、全道や全国に比べて多く、4年前よりも増加しています。



介護保険事業報告(H27・10月末)

介護度の重い人が全道に比べて、多い状況です。



介護保険事業報告(H27・10月末)

【7】森町の健康状況まとめ

本計画策定時、森町における課題として平均寿命の延伸、その要因の一つである男性の早世(65歳未満での死亡)について掲げられ、若い世代の死亡原因である脳血管疾患、心疾患の要因となる肥満や喫煙等の生活習慣の見直し、改善といった一次予防、40歳代以上に罹患する割合が高くなる生活習慣病については、治療のコントロールや重症化予防を目的とし、自分自身の健康は自分が守るという自己管理能力が高められるような取り組みを行ってきました。

森町の現状では、平均寿命が平成22年で男性78.2歳、女性86.0歳と、平成17年の男性75.7歳、女性84.9歳から男性は2.5歳、女性1.1歳の伸びが見られ、男性の短命の北海道ワースト1は返上できました。

また、65歳未満で亡くなる早死に(早世)の人は減っています。早世の男女比では男性の占める割合が高く、死因別では悪性新生物による死亡が多く、脳血管疾患や自殺による死亡も増加傾向です。

森町における全体の死因別の割合では第1位悪性新生物 第2位心疾患 第3位肺炎及び脳血管疾患と、計画策定時同様の順ですが、悪性新生物の占める割合が増加しています。

医療費の状況(森町国民健康保険)では、全体の医療費は減少していますが、一人当たりの医療費は年々増加しており、生活習慣病では高血圧、次いで糖尿病による受診者が多くなっています。

糖尿病は国民病とも言われる生活習慣病であり、予備軍の増加等もあり社会的な問題となっています。森町における特定健診結果においてもHbA1c(身体の中の血糖状態を表すもの)で所見が見られる割合が全受診者の半数以上となっており大きな課題です。

高齢者の介護認定の状況では、全道や全国と比較し認定割合はやや高く、森町は介護度の重い人が多くなっている状況です。